

今週のモーニングセミナー報告

令和6年1月31日(水)の講話 <第976回>

テーマ：かがわの英雄 西嶋八兵衛

香川県倫理法人会 モーニングセミナー副委員長 青葉工業(株)営業部次長 丸山 正 様

(松浦 清貴 会長) 最近よくYouTubeを見ています。森岡毅さんです。ユニバーサルジャパンのV字回復。映画のアトラクションをしていた。もう子供連れが来ない、映画だけでなく、アニメもアトラクションにしたい。社内では反対意見があった。映画は市場15%なので、アニメ、TVのマーケティング市場を考えた。データが大事なんですね。丸亀製麺も落ち込んでいましたが、V字回復させた。森岡さんは沖縄はハワイに勝てる。東南アジアの人口がいっぱい〜データを話題にとりあえず苦手な部分を強みに知って伸ばす。自己の個性を伸ばす。今日の栞より「尊己及人」自分の強みは判らない、動詞を大事にしてください。YouTubeの森岡毅さんから学びました。今日の講話者はMS副委員長の丸山さんです。委員長岸下さんと真反対の性格ですね。先週した笑い声もう一度実践しませんか〜『アッハッハッハ〜アッハッハッハ〜アッハッハッハ〜』元気いっぱい〜東かがわ市のスローガン：『明るく、楽しく、自己革新、今日も元気、スマイル東かがわ市〜』

(丸山 正 MS副委員長) MS副委員長の丸山です、坂出で生れ、坂出育ちです。坂出・常磐公園に久米通賢の銅像が立っています。江戸時代、坂出の地が塩田にふさわしいと見出し、塩田のお陰で隆盛を得た。その名前を取って、久米町とという町名があります。金山小学校近くの谷町に住んでいます。東かがわ市馬宿生まれです。三本松の焼き肉店オリエンタルステーキ、老舗の話。二宮尊徳の勤勉・儉約・推譲の話。青葉工業、土木部門の営業職、27年勤務。2012年に倫理法人会に入会。篠原委員長の相手の持ち味を生かしてと教えられる。篠原さんが会長の時、坂出で講話させてもらい、他の単会にも紹介してくれた。青葉工業での「気づくと即実践」の効果。入札の広告、入札申請に必要な工事成績評価通知書の入手で総合評価で落札業者が決まる。通知書もどうにか間に合い、総合評価で逆転落札・倫理に入会して4年目に結果が出た。坂出五色台トンネルの工事に際し、直前の工事業者の大下組の専務と出会い、そのまま仮設現場事務所を引き継ぎ両社にとってメリットのあることができた。気づくと同時に行う。BCP→食料備蓄と賞味期限の対応。高松市社会福祉協議会へも協力できた。SDGsの社会的評価。自家用車プリウス、20万キロ突破、300万円で購入した。400万キロ突破目指して。車代600万円の価値が出ます。「気づくと同時に行う実践」瀬戸大橋の工事の基礎となるケーソンの海面下工事をされた人。香川用水の実現：大平正芳の功績。伊勢出身の西嶋八兵衛が讃岐に来て15年間で成し遂げた事例。満濃池を含めた多くのため池観音寺の寛永通宝、栗林公園、香東川が市内を通っていた話。金倉川の名付け親。栗林公園は小堀遠州築いた京都仙洞御所の南池をモデルにして西嶋八兵衛が築いた。無名な西嶋八兵衛の功績を講談を聞いてるよ言うな口調で丁寧に語っていただきました。

担当者：赤山 芳隆

1974年生まれ49歳。1997年に青葉工業に入社してため池工事などの土木工事をしている。モーニングセミナーに参加する目的は企業と家族の健全な発展の為だという話。BCPへの取り組み、SDGsの取り組みについて話されました。またマイカープリウスは300万弱で購入したが20万キロ走ると元が取れる、40万キロ走ると600万円の価値があるという物を大切にすることへの思いが伝わってきました。建設業に飛び込むきっかけになった1988年開通の瀬戸大橋を支えているケーソンについての話。本日のテーマでもある西嶋八兵衛については三重県から来た八兵衛が濁水に苦しむさぬきの国にの為に満濃池についての話は興味深く聞きました。空海が満濃池は作ったが何度も決壊する防波堤を決壊しない防波堤づくり。1633年完成の寛永通宝、は上から見ると縦長の小判、1637年完成の栗林公園について、高松中央通りは旧香東川が流れていて水害に苦しむ人の為に2つに分かれていた川を一本化する話されました。香川県の歴史について学ぶことができました。丸山さんの郷土愛が伝わってきました。その郷土愛から香川の道を良くしたい、ため池を良くしたいという気持ち、仕事が好きなんだろうなあという気持ちが伝わってきました。講話ありがとうございました。

会長：松浦 清貴

出席社数 14社 14名

次回のご案内

(モーニングセミナー)

日時：2月7日(水) 6:00~7:00 会場：南新町自治会館2階

テーマ：波乱万丈を楽しんで 今

講話者：香川県高松南倫理法人会 会員 CHIRO オーナー 天野千寿子

香川県東かがわ市倫理法人会 TEL (0879) 26-9000/FAX (0879) 26-9001

メールアドレス rinri-hk@ma.pikara.ne.jp